

# ウポポイ(民族共生)が開業1周年

## ～アイヌ民族の歴史・文化を未来につなぐ～



ウポポイ全景

先住民族アイヌの文化を制限。さらに今年6月とまったが、コロナ禍で復讐拠点として国が北海には、緊急事態宣言を受けて一時休園とするなど、アイヌ民族文化財団が管理運営する「民族共生象徴空間(愛称:ウポポイ)」が7月12日、開業1周年を迎えた。

新型コロナウイルスの感染拡大で、開業当初の4月から7月にずれ込み、開業後も感染防止対策のため1日の入場者数を当初目標の4分の1にと

愛称「ウポポイ」 民族共生象徴空間の愛称「ウポポイ」は、アイヌ語で「おおせいで歌うこと」の意。アイヌ文化の復興拠点にふさわしい愛称として選び、一般投票を行って決められた。

ウポポイは、白老町ポロト湖畔10・6の敷地に国が2017年から総工費約200億円をかけて建設。昨年7月12日にオープンした。

国立アイヌ民族博物館のほか、体験交流ホール、体験学習館、工房、伝統的コタン(集落)などがある民族共生公園と象徴的施設で構成。

博物館では特別展も入場して正面にあるのがアイヌ民族博物館で、ポロト湖と広場を前に建てた近代的な建物。アイヌ民族をテーマとした初の国立博物館で、アイヌ民族の歴史や文化をたどる貴重な資料約1万点を収蔵し、常時800点を展示。

30年ほど前に道東の厚岸町で発掘された江戸時代の丸木舟「イタオマンチ」も展示されており、随時、特別展なども開催される。

### 来場26万人、教育旅行で道内外から748校が

新型コロナウイルスの感染拡大で、開業当初の4月から7月にずれ込み、開業後も感染防止対策のため1日の入場者数を当初目標の4分の1にと



アイヌの衣装



野外ステージでの踊り



古式舞踏の上演



木彫り体験



ムックリ(口琴)の体験



伝統料理「オハウ」



刺しゅう体験



家族で訪れた来場者



コタンを見学する子供たち

開園時間 平日が午前9時～午後20時、月3日。後6時(7月17日)～8月20日は午後8時、11月1日～3月31日は午後5時、土日祝日は午前9時～午後8時(11月1日～3月31日は午後5時)。

休園日 毎週月曜(祝日の場合は翌日以降の平日)。

入場料(税込) 大人1,000円、20人以上の団体は900円、高校生600円、小学生以下は無料(一部有料)。

問い合わせ先 0144-33-0144



伝統的コタン



儀礼

日と年末年始(12月29日～1月3日)。